

かつしか天文新聞 号外

プラネタリウム・天文展示室 ついにオープン！！

6 月 16 日から一般公開

郷土と天文の博物館にあるプラネタリウムと天文展示室は、昨年の 11 月から改修作業を行っていた。

2007 年にプラネタリウムの機械が更新された事はあったが、今回はプラネタリウムの機械はもちろんのこと、ドームのスクリーンや椅子、壁、床などプラネタリウム内全てを一新した改修であった。またプラネタリウムだけではなく、3 階のロビーや天文展示室、

2 階のフーコーの振り子周も新しくしており、大規模な改修がされていた。

プラネタリウムは、スクリーンが綺麗になったことと、新しい 4K プロジェクターにより、映像が鮮明となり自分が宇宙空間にいるような体験ができる。また星を映し出す光学式プラネタリウムの星の数も以前よりも増えたので、満天の星が見られる時間が楽しみである。また、プラネタリウ

ム前のロビーには、これまで活躍をしていた光学式プラネタリウムが展示されており、懐かしむ人も多いように思う。天文展示室は、シンボルであるティコ・ブラーエの大アーミラリーと晴れていれば、その日の太陽が見られる太陽投影盤は以前のまま残り、その周囲の空間が一新された。ミニイベントや展示などが行える場所が設けられ、今後の展開が楽しみな空間に感じた。2 階のフーコーの振り子も柵が透明になり、小さな子どもでも簡単に見られるようになった。

プラネタリウムのリニューアルオープニング番組はこれまでも人気が高かった「かつしかから宇宙へ」を新しく作り変えたものだという。新しい映像でどんな宇宙の場所へ連れて行ってくれるのか、今後とても楽しみである。

来館者特典！！
オリジナルクリアファイル
プレゼント★

※お一人さま一枚
なくなり次第終了

ミュージアムグッズ新商品登場！

新しいプラネタリウムの機械のロゴ入り
オリジナル手ぬぐい



1 枚
350 円
(税込)

郷土と天文の博物館限定商品です。
1 階受付カウンターにて販売中！！

これまでの「かつしか天文新聞」は
ホームページにてご覧いただけます。



これまでの歩み

1991
7.20

博物館オープン

プラネタリウム第1作
「太陽・母なる星」

三管式プロジェクターと
スライドで投映
光学式投映機の
星の数 15,000 個
天の川は画像表示

1995

幼児投映
「たなばたものがたり」
ドームくん初登場



1997

天文ミニ展示
プラネタリウム前ロビー
掲示板設置



2007.3.18

プラネタリウムリニューアル

ドーム全体に投映が可能
デジタルプロジェクター6台 2K
日本初の「デジタルユニバース」導入
光学式投影機の星の数
360,000 個

2013

新作子ども番組
ドームくんリニューアル



2014

天文ミニ展示
季節の番組に
合わせた展示を開催

2008

天文展示一部リニューアル

太陽のテレビ
ブラウン管から液晶へ

冥王星が
準惑星に改訂

4 台望遠鏡の
説明ボタン追加

2018.6.16

天文施設リニューアル

プラネタリウム
デジタルプロジェクター2台 4K
光学式投影機の星の数
400,000 個
ゆとりのある座席

天文展示室

新しい情報を伝えることができる空間へ